

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成29年11月2日

上場会社名 株式会社エス・ディー・エス バイオテック 上場取引所 東
 コード番号 4952 URL http://www.sdsbio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 順一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 深澤 良彦 TEL 03-5825-5511
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,442	14.7	73	—	71	—	△111	—
29年3月期第2四半期	5,618	—	△183	—	△363	—	△127	—

- (注) 1. 包括利益 30年3月期第2四半期 △27百万円（—%） 29年3月期第2四半期 △599百万円（—%）
 2. 当社は、平成28年3月期より決算期を12月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、平成29年3月期第2四半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日）は、比較対象となる平成28年3月期第2四半期（平成27年1月1日から平成27年6月30日）とは対象期間が異なるため、平成29年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
30年3月期第2四半期	△14.17
29年3月期第2四半期	△16.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	18,409	6,162	33.5	786.93
29年3月期	18,027	6,287	34.9	802.94

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,162百万円 29年3月期 6,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
30年3月期	—	12.50	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,860	5.8	1,440	96.1	1,320	134.9	630	—	80.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記、(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項、(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,830,925株	29年3月期	7,830,925株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	7,830,925株	29年3月期2Q	7,830,925株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における我が国経済は、政府の経済政策による雇用の改善、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調が続いております。一方で、世界経済においては米国新政権による政策の動向や英国の欧州連合(EU)離脱等の影響から、金融資本市場が不透明な状況にあります。

農業を取り巻く環境は、世界的には人口増加や新興国の経済成長、バイオ燃料の需要増加に伴って農作物需要が拡大しており、中長期的にも成長が継続するものと思われま。一方、国内においては、政府による農業改革が本格化し、農業の生産性を高め、従事者所得を増やすことを目標に、現在、農業生産資材価格の引き下げや農産物流通の構造改革について議論が重ねられております。農薬についても、2017年4月より、国際基準に基づいた新規農薬原体の原体規格設定が開始され、既存農薬原体に対する運用については今後注視して行く必要があります。

このような中、当社グループの状況は、世界的なダコニール需要の増加により、当社主力製品であるダコニール関連剤(原体及び製剤)やその中間体IPNの出荷を中心に、各品目において好調に推移いたしました。閑散期にあたることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は64億42百万円(前年同四半期比8億24百万円増、14.7%増)となり、営業利益は73百万円(前年同四半期は営業損失1億83百万円)、経常利益は71百万円(前年同四半期は経常損失3億63百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億11百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億27百万円)となりました。

なお、当社グループの販売する製品は、農繁期に備え、冬季から春季にかけて出荷が集中する傾向にあります。そのため、第3四半期連結会計期間(10月1日から12月31日まで)、第4四半期連結会計期間(1月1日から3月31日まで)に売上が集中する傾向にあり、特に第3四半期連結会計期間はその傾向が顕著となります。

当社グループは農業事業セグメントのみの単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すために品目別に販売実績を記載いたします。

(殺菌剤)

当第2四半期連結累計期間における売上高は23億20百万円(前年同四半期比2億72百万円増、13.3%増)となりました。これは、主に海外向けダコニール関連剤(原体及び製剤)の出荷が好調に推移したことによるものです。

(水稻除草剤)

当第2四半期連結累計期間における売上高は16億69百万円(前年同四半期比1億72百万円増、11.5%増)となりました。これは、主に水稻用除草剤原体の前倒し出荷があったことによるものです。

(緑化関連剤)

当第2四半期連結累計期間における売上高は13億1百万円(前年同四半期比5百万円増、0.4%増)となりました。これは、主にカルブチレート関連剤(原体及び製剤)の出荷が好調に推移したことによるものです。

(殺虫剤)

当第2四半期連結累計期間における売上高は6億38百万円(前年同四半期比61百万円増、10.7%増)となりました。これは、主にDC油剤の出荷が好調に推移したことによるものです。

(その他)

当第2四半期連結累計期間における売上高は5億12百万円(前年同四半期比3億11百万円増)となりました。これは、主にダコニール中間体IPNの出荷が好調に推移したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末(平成29年9月30日)における総資産は184億9百万円であり、前連結会計年度末(平成29年3月31日)と比べて、3億82百万円の増加となりました。

流動資産は135億35百万円であり、前連結会計年度末と比べて3億63百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金の増加10億59百万円、受取手形及び売掛金の減少10億30百万円、たな卸資産の増加4億73百万円、繰延税金資産の増加53百万円、未収入金の減少1億46百万円があったためです。

固定資産は48億74百万円であり、前連結会計年度末と比べて19百万円の増加となりました。これは、主に有形固定資産の増加21百万円、無形固定資産の減少11百万円、投資有価証券の増加82百万円、長期前払費用の減少44百万円があったためです。

流動負債は85億14百万円であり、前連結会計年度末と比べて56百万円の減少となりました。これは、主に買掛金の減少1億36百万円、短期借入金の減少1億48百万円、未払費用の減少61百万円、未払法人税等の増加2億13百万円があったためです。

固定負債は37億33百万円であり、前連結会計年度末と比べて5億64百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金の増加4億80百万円、繰延税金負債の増加87百万円があったためです。

純資産は61億62百万円であり、前連結会計年度末と比べて1億25百万円の減少となりました。これは、主に前連結会計年度の剰余金の配当による減少97百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失による減少1億11百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億21百万円、為替換算調整勘定の減少30百万円があったためです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権の回収、長期借入金の借入による調達がありましたが、仕入債務の減少、未払費用の減少等により、18億7百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動におけるキャッシュ・フローは8億69百万円の資金収入(前年同期の営業活動におけるキャッシュ・フローは2億2百万円の資金支出)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上69百万円、売上債権の回収13億93百万円、棚卸資産の増加4億55百万円、仕入債務の減少1億47百万円、未払費用の減少62百万円、利息の支払額1億70百万円によるものです。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動におけるキャッシュ・フローは1億15百万円の資金支出(前年同期の投資活動におけるキャッシュ・フローは98百万円の資金支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1億7百万円によるものです。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは2億97百万円の資金収入(前年同期の財務活動におけるキャッシュ・フローは8億20百万円の資金収入)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少(純額)1億99百万円、長期借入金による資金調達16億50百万円、長期借入金の返済10億54百万円、配当金の支払97百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年3月期決算発表時(平成29年5月12日)に公表した通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	747,754	1,807,609
受取手形及び売掛金	6,177,597	5,146,645
たな卸資産	5,290,471	5,763,833
前払費用	253,616	272,476
未収入金	694,751	548,029
繰延税金資産	298,529	351,737
その他	196,386	172,466
貸倒引当金	△486,626	△526,984
流動資産合計	13,172,480	13,535,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,160,858	1,154,075
機械装置及び運搬具(純額)	356,380	399,545
工具、器具及び備品(純額)	130,646	117,345
土地	891,545	891,545
建設仮勘定	2,354	1,064
有形固定資産合計	2,541,785	2,563,577
無形固定資産		
ソフトウェア	73,719	62,421
その他	19,630	19,765
無形固定資産合計	93,349	82,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,879,057	1,961,814
長期前払費用	98,385	53,794
退職給付に係る資産	78,191	68,351
その他	164,122	144,287
投資その他の資産合計	2,219,756	2,228,247
固定資産合計	4,854,891	4,874,010
資産合計	18,027,371	18,409,824

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,487,815	1,351,093
短期借入金	3,147,029	2,998,491
1年内返済予定の長期借入金	2,039,060	2,155,150
未払金	752,932	759,258
未払費用	748,597	687,268
未払法人税等	4,626	217,806
賞与引当金	158,986	151,309
その他	231,441	193,734
流動負債合計	8,570,489	8,514,112
固定負債		
長期借入金	3,060,690	3,540,700
退職給付に係る負債	36,897	34,469
繰延税金負債	51,367	139,061
その他	20,139	19,044
固定負債合計	3,169,094	3,733,275
負債合計	11,739,584	12,247,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,360	810,360
資本剰余金	77,527	77,527
利益剰余金	5,143,643	4,934,725
株主資本合計	6,031,530	5,822,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,210	203,420
為替換算調整勘定	32,770	1,843
退職給付に係る調整累計額	141,276	134,558
その他の包括利益累計額合計	256,257	339,823
純資産合計	6,287,787	6,162,436
負債純資産合計	18,027,371	18,409,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,618,736	6,442,761
売上原価	3,859,134	4,461,251
売上総利益	1,759,601	1,981,509
販売費及び一般管理費	1,943,205	1,907,761
営業利益又は営業損失(△)	△183,603	73,748
営業外収益		
受取利息	896	951
受取配当金	2,477	2,668
持分法による投資利益	95,524	136,710
為替差益	—	14,753
その他	8,898	12,696
営業外収益合計	107,796	167,779
営業外費用		
支払利息	178,798	169,746
為替差損	109,011	—
その他	0	0
営業外費用合計	287,810	169,746
経常利益又は経常損失(△)	△363,616	71,780
特別利益		
固定資産売却益	708	—
その他	270	—
特別利益合計	979	—
特別損失		
固定資産除却損	74	2,123
固定資産売却損	147	19
特別損失合計	222	2,143
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△362,860	69,636
法人税等	△143,651	180,667
四半期純損失(△)	△219,208	△111,030
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△91,888	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127,320	△111,030

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△219,208	△111,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,975	121,210
為替換算調整勘定	△196,044	△16,450
退職給付に係る調整額	△14,727	△6,717
持分法適用会社に対する持分相当額	△162,422	△14,475
その他の包括利益合計	△380,170	83,566
四半期包括利益	△599,379	△27,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△485,609	△27,464
非支配株主に係る四半期包括利益	△113,770	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△362,860	69,636
減価償却費	155,527	161,593
のれん償却額	61,851	—
固定資産売却損益(△は益)	△560	19
固定資産除却損	74	2,123
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△28,323	31,324
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,766	△7,760
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,858	123
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	838	△3,019
受取利息及び受取配当金	△3,374	△3,619
支払利息	178,798	169,746
為替差損益(△は益)	37,823	△7,769
持分法による投資損益(△は益)	△95,524	△136,710
売上債権の増減額(△は増加)	1,976,165	1,393,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	△769,996	△455,624
仕入債務の増減額(△は減少)	△473,862	△147,474
未払費用の増減額(△は減少)	△235,552	△62,805
その他の資産の増減額(△は増加)	△242,691	3,516
その他の負債の増減額(△は減少)	△66,800	△27,588
小計	79,910	979,637
利息及び配当金の受取額	4,262	7,336
持分法適用会社からの配当金の受取額	24,000	24,000
利息の支払額	△177,937	△170,445
法人税等の還付額	2,282	29,373
法人税等の支払額	△134,631	△648
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202,114	869,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,345	△107,370
無形固定資産の取得による支出	△17,013	△12,127
その他	12,308	4,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,050	△115,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	36,350	△199,940
長期借入れによる収入	2,100,000	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△1,198,380	△1,054,530
配当金の支払額	△117,333	△97,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	820,637	297,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,699	8,301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,772	1,059,957
現金及び現金同等物の期首残高	1,274,887	747,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,746,660	1,807,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。